



峠歩きは面白い!!

令和4年8月11日 埼玉会館

県立川の博物館 研究交流部長 大久根 茂

1 「峠」とは？

(1) 峠の語源

- ・峠は国字。室町時代頃からか。古くは「〇〇坂」「〇〇越」だった。
- ・説① たわ越え⇒とうげ
- ・説② たむけ（手向ける＝神仏に何かを捧げる）⇒とうげ

(2) 峠の地形

- ・登山での峠は単なる鞍部、通過点、休憩の場。
- ・本来の峠は、てっぺんであり目標。
- ・「大雨の峠は越えた」「患者の容体は峠を越えた」……峠の先に見えるのは明るい未来。
- ・柳田國男一峠の表と裏について

(3) 峠の名称

- ・集落名（正丸峠、定峰峠）、神仏名（地藏峠、塞神峠）、樹木名（一本杉峠、榎峠）、地形（赤岩峠、三国峠）、道の状況（八丁峠）、人名（将監峠）など
- ・集落名の場合－開拓の方向や人の動きを示すものか。
- ・同じ峠に2つの名称（互いの集落名）もあり。

2 峠歩きの魅力

- ・趣味の山歩きと民俗学が合体。
⇒『秩父の峠』『峠 秩父への道』『奥武蔵・秩父 峠歩きガイド』
『山の本』連載「峠の履歴書」

- ・静かな山歩き。熊に会えても人に会わない。
- ・歩きやすい道。馬が越えた峠ならなおさら。
- ・石仏や道標との出会い。
- ・古老の経験談。

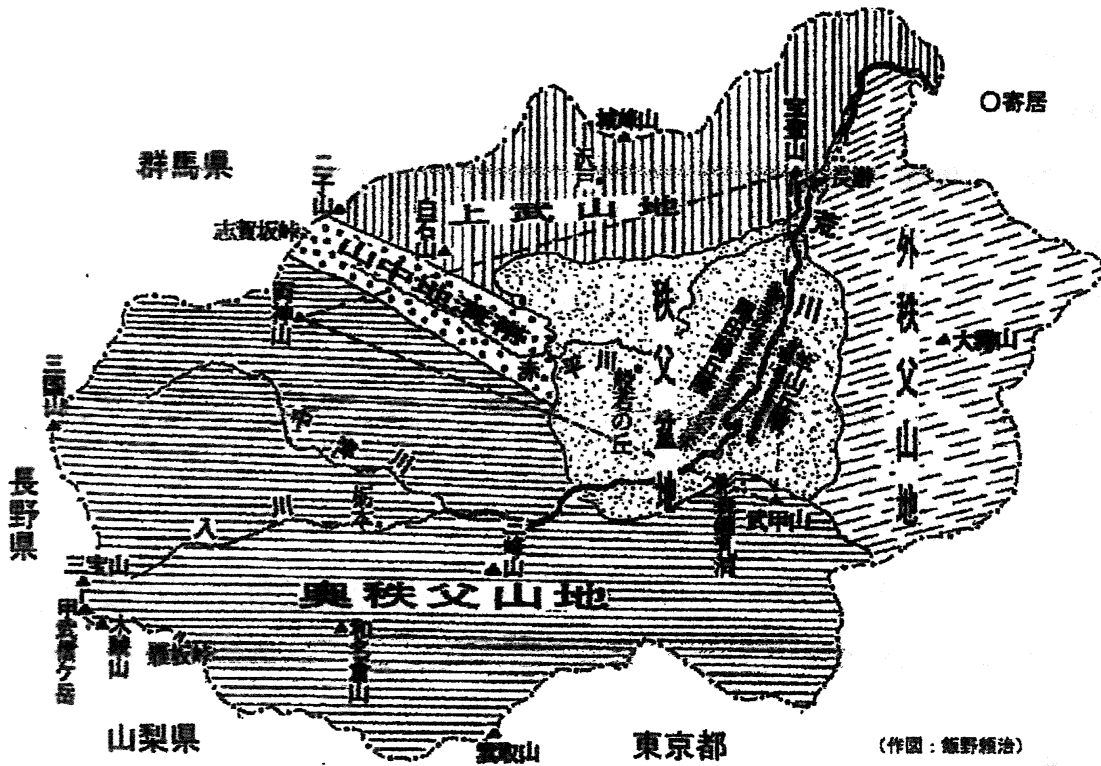
しかし一方で……

- ・荒れた峠道や廃道も少なくない。道普請は過去の話。
- ・かつての茅場が植林され、眺望なし。
- ・経験者はすでに故人となり、親や祖父母からの伝承。



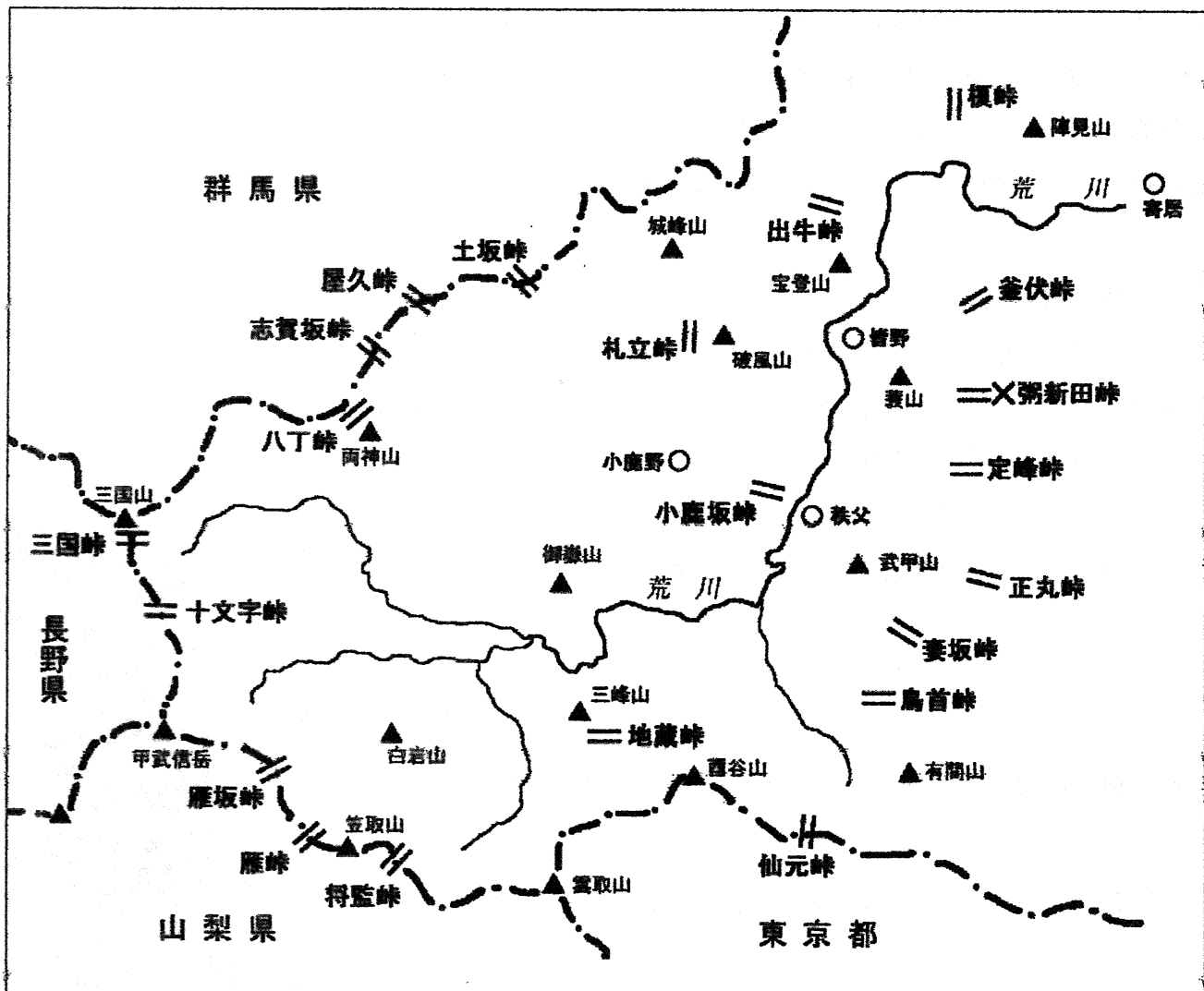
3 秩父にとって峠とは

- ・大きな峠と小さな峠
- ・秩父の外との行き来
- ・秩父の中での行き来
- ・政治の道、経済の道、信仰の道、生活の道



(作図：飯野頼治)

秩父と

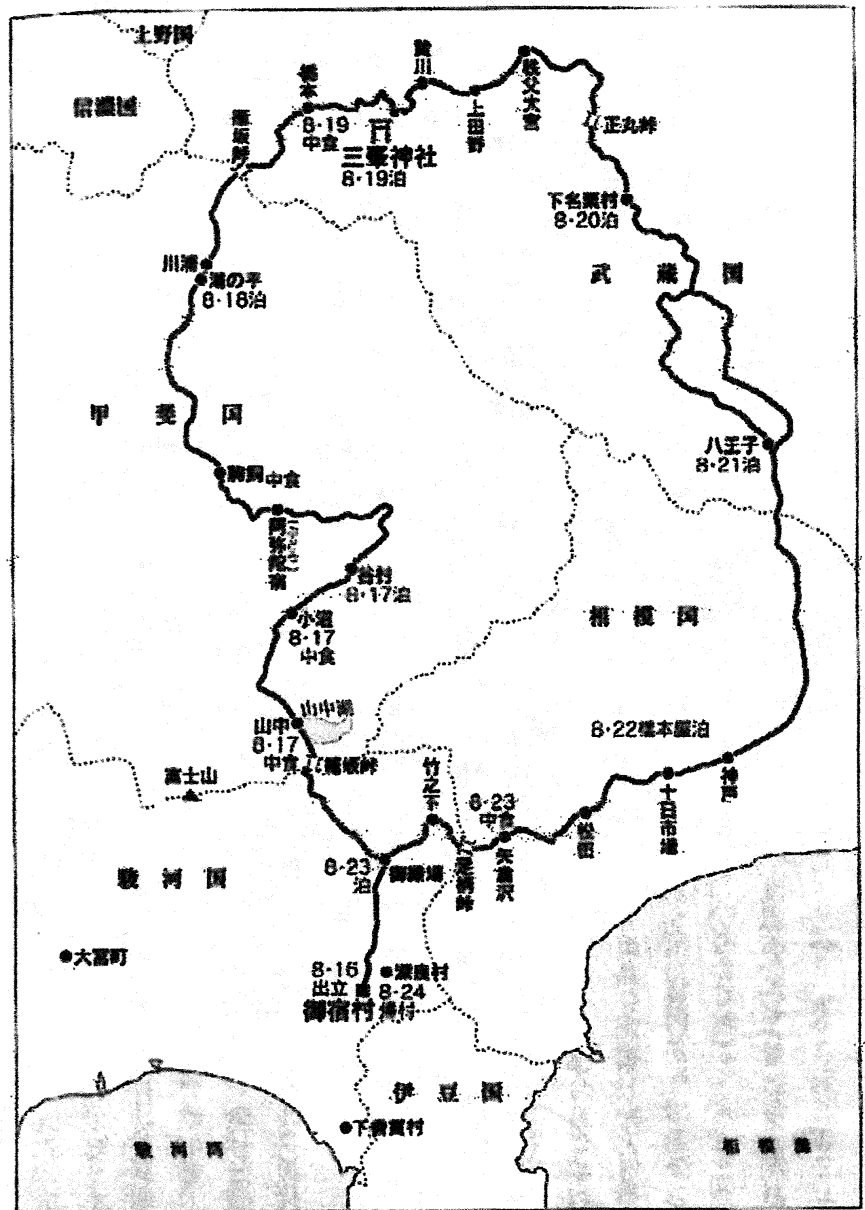




秩父と関東平野を結ぶ道 (大正3年)

4 三峯信仰と峠

- ・三峯神社一火災除け、盗難除け、四足除け
- ・お犬様信仰の広がり
- ・関東平野からの参詣路
- ・長野、山梨からの参詣路
- ・秩父札所参りの延長
- ・コレラ退治と三峯信仰



駿州御宿村（裾野市）からの三峯参り（安政5年）

5 峠道の今

- ・峠越えの車道
- ・旧道は今
 - ① 変わらずに残っている道
 - ② 車道で分断されながらも残っている道
 - ③ 廃道

